

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよるこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すくれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

●発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20) ●編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

街でみかけた花づくりを楽しむ人



家族の中に花の話題がいっぱい

小西 ヒロ子さん (寺戸町東野辺)

昨年仕事を辞めてから、花に接する時間が増えて喜んでます。今は、サフィニアやリリカシャワーがプランター一杯に咲いています。主人や子どもたちも私の影響を受けて、観葉植物やハーブの栽培に興味を持っています。家族が集まると花の話が尽きないんですよ。



ストレスの解消にも

吉田 喜代子さん (物集女町北ノ口)

向日市に越してきてから、本格的に花作りを始めました。種から栽培しているの、土質を選ばない丈夫なものを選んでます。トレリスには自分でペンキを塗って、高・中・低と花を吊りハンギングも楽しんでます。日頃のストレスの解消になる花作り、そのうち無農薬の野菜も作りたいですね。



一年中花に囲まれて

小野 恵都子さん (上植野町大田)

一年中生活の中に花があります。挿し木や種で花を増やし、ドライフラワーやポプリにして楽しんでます。今年の初夏の庭はピンクや赤で色を統一し、派手に演出してみました。春、夏、秋とどんな彩りで庭を飾るかを考えるのも楽しいですね。もうすぐ、リースに使う観賞用の唐辛子を植えます。

緑化園芸教室を開催

ガーデニングって楽しいですよ

いまガーデニングがブームを呼んでいます。特に、自然な美しさとしっとりとした風情のあるイングリッシュガーデン、花と緑の組み合わせを楽しむ寄せ植え、作る人の想像力をかき立てるハンギングバスケットなどです。6月25日に開催する緑化園芸教室では、このハンギングバスケットを作ります。初めての方も気軽に参加ください。その作り方を少しご紹介いたします。

軒下や木の枝に吊る円形のものやベランダの手すりやフェンスなどにかける半円形のものなどがありますが、水やりをする重量が増えるので丈夫な所を選びます。バスケットの種類と用土

水やりは、土の量が少なくよく乾くので夏には朝夕2回。肥料は、化成肥料や固形油粕を1か月に1回。萎れた花は、見苦しいばかりでなく、種がついて株の生育も悪くなります。梅雨期には雨に当てないようにします。茎が伸びて草姿が乱れてきたら、適当な長さのところで切り縮めます。夏の高温時は育成も弱るので刈り込んで、気温の下がる秋に美しい花を咲かすようにします。

■緑化園芸教室を開催■
日時 6月25日(木)午後1時30分〜3時30分
場所 市民会館
費用 千円
定員 40人
内容 「楽しいハンギングバスケットの作り方」
講師 森田祐次郎氏

■申込み・お問い合わせ
6月15日(月)から都市整備課(内線267)へ電話で申し込んでください。(先着順)

デラ、テランセラなど
■植え方のポイント
長くツル状に伸びる種類は上部に植えない。茎の立ちやすいものは上に植える。
■手入れ
水やりは、土の量が少なくよく乾くので夏には朝夕2回。肥料は、化成肥料や固形油粕を1か月に1回。

花と緑がある暮らし
豊かな時間が
流れていくような
気がします。
あなたも花づくりを
始めてみませんか。



草花に対する思いやりは命を大切にすることに通じますね

花とかかわりを持つようになって50年になります。昔と比べると、園芸・ガーデニングを楽しんでいる方が増えていきます。町を歩いてみても、プランターやコンテナに季節の花を飾り、光景が目に見え込んでいます。特に若い女性の方が花づくりを楽しんでおられることが多いように思います。苗を世話し花が咲く楽しみ、花株を増やす楽しみ、またその花を誰かに見せたいという楽しみ、一つひとつの楽しみは、子どもを育てていくことと同じです。花に対する思いやりは、命を大切にすることに通じているのではないのでしょうか。



緑化園芸教室 講師 森田 祐次郎氏

その他のガーデニングBOOK

■コンテナガーデン-庭でベランダで小さな庭仕事 神田隆著 じゃこめてい出版
■四季のコンテナガーデン 高橋章著 成美堂出版
■庭がなくても楽しめる週末のガーデニング 講談社
■芝生の庭とアウトテリア 京阪園芸著 ひかりのくに



雑誌「趣味の園芸」NHK放送の毎月のテーマや日頃よくおこる園芸の失敗、疑問に答え、園芸の基礎知識をわかりやすく解説。



雑誌「BISES」住空間をインテリアから庭にまで広げてとらえ、心地よい住環境作りを提案する雑誌。世界中の庭を毎月特集。



「モネが創った庭」モネの生涯をかけて創り上げた自分のモチーフ通りの最高傑作「ジヴェルニーの庭」その花壇の設計図も紹介。



「リトルガーデンブック」ベランダいっぱいバラを咲かせる、ハーブ料理のレシピなど、植物を楽しむヒントがいっぱいの園芸ブック。



「ハーブの育て方&楽しみ方」育てやすいハーブを中心にしたガーデンデザインと暮らしに潤いを与えるハーブの利用法を提案する入門書。

図書館にあるガーデニングの本